

第六次総合計画 施策評価シート(令和元年度)

3-⑦

施策

防災意識を高め、災害に的確かつ迅速に対応できる体制を強化する

担当部局

総務局, 消防局, 建設局, 文化産業局, 教育委員会, 保健福祉局, 市民局



【安全・安心】 めざまちの姿 行政と市民, 企業等が連携をとり, 災害に備え対策をとっている

市の基本方針

- 地域住民や公的機関, 事業者等と連携することにより, それぞれの役割が有効に発揮される市全体の防災力の向上をめざします。
- 「自助」「共助」「公助」の防災理念のもと, 地域住民の知恵と情報を防災に生かす自主防災組織の結成・育成を支援します。
- 国や県と連携し, 河川や水路の改修や急傾斜地の対策を行うとともに, 公園への防災機能の導入, 公共施設や住宅等建築物の耐震化を推進し, 災害に強いまちづくりをめざします。
- 防災訓練等を通じて, 市民の防災に関する意識の高揚と知識の向上を図るとともに, 災害発生時に的確かつ迅速に対応するための消防体制の充実を図ります。
- 市民に防災情報を正確かつ迅速に知らせるため, 情報伝達システムの整備と運用を行います。

数値目標

まちづくり指標	目指す方向性	算出方法																																				
災害発生時のために、日頃から家族で備えをしている人の割合	↑	市民アンケート調査で「災害発生時のために、日頃から家族で備えをしていますか。」という設問に対して、『している』『いらかしている』と回答した人の割合。 ※H21(基準値)の設問は「非常持ち出し袋の準備, 避難経路の確認など, 災害発生時のために、普段から家族で備えをしていますか。」																																				
<table border="1"> <caption>災害発生時のために、日頃から家族で備えをしている人の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>32.2</td><td>32.2</td></tr> <tr><td>H23</td><td>44.1</td><td>35.0</td></tr> <tr><td>H24</td><td>43.1</td><td>38.0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>50.5</td><td>41.0</td></tr> <tr><td>H26</td><td>48.9</td><td>44.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>46.9</td><td>47.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>49.2</td><td>50.0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>47.9</td><td>53.0</td></tr> <tr><td>H30</td><td>53.2</td><td>56.0</td></tr> <tr><td>R1</td><td>58.0</td><td>59.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>62.0</td><td>62.0</td></tr> </tbody> </table>			年度	実績値	目標値	H21	32.2	32.2	H23	44.1	35.0	H24	43.1	38.0	H25	50.5	41.0	H26	48.9	44.0	H27	46.9	47.0	H28	49.2	50.0	H29	47.9	53.0	H30	53.2	56.0	R1	58.0	59.0	R2	62.0	62.0
年度	実績値	目標値																																				
H21	32.2	32.2																																				
H23	44.1	35.0																																				
H24	43.1	38.0																																				
H25	50.5	41.0																																				
H26	48.9	44.0																																				
H27	46.9	47.0																																				
H28	49.2	50.0																																				
H29	47.9	53.0																																				
H30	53.2	56.0																																				
R1	58.0	59.0																																				
R2	62.0	62.0																																				
<p>動向(Ⅰ)/内訳(Ⅱ)/分析(Ⅲ)</p> <p>(Ⅰ) 実績値は, 基準年に比べ, 21ポイント上がり, 前年度に比べ, 5.3ポイント上がった。 【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P28】</p> <p>(Ⅱ) 全年代で, 「している」「いらかしている」と回答した割合が前年度より増加もしくは同程度となっている。</p> <p>(Ⅲ) 豪雨災害を受けて関心が高まっている。</p>																																						

まちづくり指標	目指す方向性	算出方法																																	
自主防災組織の結成率	↑	平成27年度まで: 結成数(世帯数)/全世帯数×100 平成28年度以降: 自主防災組織の結成されている地域の世帯数/全世帯数×100																																	
<table border="1"> <caption>自主防災組織の結成率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>33.89</td><td>33.89</td></tr> <tr><td>H23</td><td>38.24</td><td>35.00</td></tr> <tr><td>H24</td><td>41.76</td><td>37.00</td></tr> <tr><td>H25</td><td>50.74</td><td>39.00</td></tr> <tr><td>H26</td><td>56.01</td><td>41.00</td></tr> <tr><td>H27</td><td>56.88</td><td>39.00</td></tr> <tr><td>H28</td><td>72.10</td><td>45.00</td></tr> <tr><td>H29</td><td>73.00</td><td>51.00</td></tr> <tr><td>H30</td><td>73.56</td><td>57.00</td></tr> <tr><td>R1</td><td>73.56</td><td>65.00</td></tr> </tbody> </table>			年度	実績値	目標値	H21	33.89	33.89	H23	38.24	35.00	H24	41.76	37.00	H25	50.74	39.00	H26	56.01	41.00	H27	56.88	39.00	H28	72.10	45.00	H29	73.00	51.00	H30	73.56	57.00	R1	73.56	65.00
年度	実績値	目標値																																	
H21	33.89	33.89																																	
H23	38.24	35.00																																	
H24	41.76	37.00																																	
H25	50.74	39.00																																	
H26	56.01	41.00																																	
H27	56.88	39.00																																	
H28	72.10	45.00																																	
H29	73.00	51.00																																	
H30	73.56	57.00																																	
R1	73.56	65.00																																	
<p>動向(Ⅰ)/内訳(Ⅱ)/分析(Ⅲ)</p> <p>(Ⅰ) 実績値は, 基準年に比べ, 39.67ポイント上がり, 前年度に比べ, 0.56ポイント上がった。</p> <p>(Ⅱ) 新たに9組織が結成された。</p> <p>(Ⅲ) 豪雨災害を受けて関心が高まっている。</p>																																			

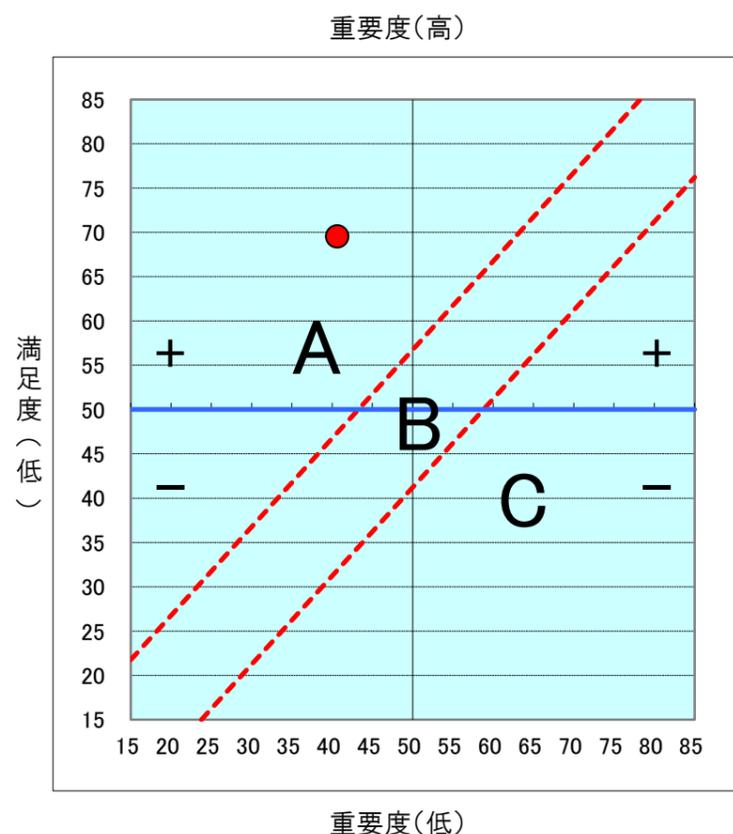
まちづくり指標	目指す方向性	算出方法																																				
地域の防災訓練に参加している人の割合	↑	市民アンケート調査で「地域の防災訓練に参加していますか。」という設問に対して、『している』と回答した人の割合。																																				
<table border="1"> <caption>地域の防災訓練に参加している人の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>9.0</td><td>9.0</td></tr> <tr><td>H23</td><td>8.9</td><td>10.0</td></tr> <tr><td>H24</td><td>8.1</td><td>11.0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>10.6</td><td>12.0</td></tr> <tr><td>H26</td><td>10.7</td><td>13.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>11.3</td><td>14.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>12.6</td><td>15.0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>11.4</td><td>16.0</td></tr> <tr><td>H30</td><td>10.4</td><td>17.0</td></tr> <tr><td>R1</td><td>11.0</td><td>18.0</td></tr> <tr><td>R2</td><td>10.4</td><td>34.0</td></tr> </tbody> </table>			年度	実績値	目標値	H21	9.0	9.0	H23	8.9	10.0	H24	8.1	11.0	H25	10.6	12.0	H26	10.7	13.0	H27	11.3	14.0	H28	12.6	15.0	H29	11.4	16.0	H30	10.4	17.0	R1	11.0	18.0	R2	10.4	34.0
年度	実績値	目標値																																				
H21	9.0	9.0																																				
H23	8.9	10.0																																				
H24	8.1	11.0																																				
H25	10.6	12.0																																				
H26	10.7	13.0																																				
H27	11.3	14.0																																				
H28	12.6	15.0																																				
H29	11.4	16.0																																				
H30	10.4	17.0																																				
R1	11.0	18.0																																				
R2	10.4	34.0																																				
<p>動向(Ⅰ)/内訳(Ⅱ)/分析(Ⅲ)</p> <p>(Ⅰ) 実績値は, 基準年に比べ, 1.4ポイント上がり, 前年度に比べ, 1ポイント下がった。 【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P29】</p> <p>(Ⅱ) 前年に比べ, 20代で3.9ポイント増えているが, 10代70代で同じ程度減少している。地域別では倉敷, 水島, 庄で減少, 児島, 玉島, 茶屋町, 真備で増加している。</p> <p>(Ⅲ) 豪雨災害の対応のために防災訓練を取りやめた地区があるなどし, 全体として減少したのではないかとと思われる。</p>																																						

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／平成30年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	H30年度 決算額 (千円)
重創	災害予防事業	(Ⅰ) 災害防止対策や災害に備え情報連絡体制を整えることを目的として実施した。 (Ⅱ) 全市一斉の総合防災訓練を計画していたが豪雨災害対応のため中止とした。 (Ⅲ) 情報連絡体制の整備, 防災意識向上の為継続して実施する。	18,066
重	災害備蓄品整備事業	(Ⅰ) 災害からの被害を最小限にとどめるとともに被災者への迅速な対応をするための市の防災体制づくりを目的として実施した。 (Ⅱ) 備蓄計画を前倒して飲料水, 食料等の購入をした。マンホールトイレ用便器・テントを6小中学校へ配備した。 (Ⅲ) 災害時の備蓄品概ね3倍とし, 備蓄倉庫建設など一層の強化を図るため事業を拡大する。	19,955
	要援護者避難支援事業	(Ⅰ) 災害時における要援護者の避難体制を充実させることを目的として実施した。 (Ⅱ) 災害時要援護者に情報提供の同意確認を行い, 関係機関(民生委員, 自主防災組織, 倉敷市社会福祉協議会, 消防機関, 警察)と災害時要援護者の情報を共有した。また, 制度を理解した上で回答してもらえるよう同意確認書の様式を変更した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	2,834
	地域健康危機管理体制推進事業	(Ⅰ) 大規模災害時や新型インフルエンザの発生時等に市民の健康被害を最小限に抑えることを目的に実施した。 (Ⅱ) 市内医療機関職員を対象に, 平成30年7月豪雨災害時の対応を振り返り, 今後の災害発生に備える研修会を実施した。地域住民に対しては, 災害時の住民共助の重要性について, 啓発を行った。また, 岡山県に合わせて新型インフルエンザ情報伝達訓練を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	583
重公創	自主防災組織育成事業	(Ⅰ) 自主防災組織の結成促進と活動の活性化を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 防災意識向上のための出前講座を実施するとともに, 自主防災組織の活動に必要な資機材を交付した。地域の集会所等を届け出避難所として認定し, 備蓄品を配布した。防災土育成講座を開催し, 防災士を育成した。 (Ⅲ) 自主防災組織のさらなる結成促進と活動活性化を支援するために事業を継続する。	4,067
重公	浸水対策事業	(Ⅰ) 河川の氾濫等による浸水被害から, 市民の生命・財産を守ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 排水機ポンプ修繕, 河川護岸改修, 河床掘削工事を実施した。これにより, 内水排除の能力が増している。 (Ⅲ) 継続して実施する。	363,134
重公	建築物耐震改修等助成事業	(Ⅰ) 建築物の耐震化の推進を目的として実施した。 (Ⅱ) 木造住宅, その他の耐震改修等に要する費用の一部を補助した。 交付件数: 木造住宅10件(全体改修9件, 耐震シェルター設置1件), 要緊急建築物補強設計2件 (Ⅲ) 耐震化の必要性や補助制度の内容について, 広報活動を頻繁に行い継続して実施する。	15,187
重公	建築物耐震診断等助成事業	(Ⅰ) 建築物の耐震化の推進を目的として実施した。 (Ⅱ) 木造住宅, その他の建築物の耐震診断に要する費用の一部を補助した。 交付件数: 木造住宅耐震診断88件(内, 現況診断60件, 補強計画28件), 一般建築物耐震診断2件, 要安全建築物耐震診断2件 (Ⅲ) 耐震化の必要性や補助制度の内容について, 広報活動を頻繁に行い継続して実施する。	13,522
重公	空家等対策事業	(Ⅰ) 特定空家等又は特定空家等になるおそれのある管理不適切な空家等を減少させ, 生活環境の保全等を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 特定空家等又は特定空家等になるおそれのある管理不適切な空家等の除却工事等の費用の一部を補助した。交付件数: 19件 (Ⅲ) 継続して実施する。	13,327
重公	幼稚園園舎等耐震化事業(再掲)	(Ⅰ) 幼稚園の園舎等の耐震化を行い, 安全安心な環境を提供することを目的に実施した。 (Ⅱ) 倉敷東幼稚園の耐震補強工事が完了した。 (Ⅲ) 今後の耐震化の進め方について検討する。	9,547
重公創	公立認定こども園園舎耐震化事業(再掲)	(Ⅰ) 旧耐震基準で建築された園舎について, 耐震診断及び補強工事等を行い, 災害時等における安全性を確保する。 (Ⅱ) 穂井田認定こども園の移転先用地を購入し, 新園舎の設計を行った。 (Ⅲ) 園舎の状況, 工事期間中の代替設備等を検討し, 令和元年度以降も順次耐震化を実施する。	64,713
重公	公共施設耐震化事業	(Ⅰ) 不特定多数の市民等が利用する公共施設の耐震化を行う。 (Ⅱ) 耐震診断: 倉敷民主会館ほか3館, 倉敷武道館, いろりの家 実施設計: 本庁舎低層棟 耐震補強工事: 水島勤労福祉センター (Ⅲ) 継続して実施する。	82,812
重公	消防団機庫建設事業	(Ⅰ) 老朽化した消防機庫の建替えに伴う調査等を実施した。 (Ⅱ) 平成30年度は, 倉敷方面隊中洲分団の新機庫用地の地質調査を実施した。また, 玉島方面隊玉島東分団第1部の旧機庫の解体工事を実施した。 (Ⅲ) 令和元年度は, 倉敷方面隊中洲分団の消防機庫の建築工事を実施する。	5,470
	備中地区消防相互支援事業	(Ⅰ) 備中地区6消防本部の一体性を醸成し, 圏域内の消防力強化を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 泡放射消防訓練の見学, 救急講演会の開催, 資機材の相互貸借に関する調整を実施した。 (Ⅲ) 備中地区6消防本部の消防力強化を図るため, 継続して実施する。	0
公創	鉄道施設緊急耐震対策事業	(Ⅰ) 水島臨海鉄道施設の安全対策強化を図ることを目的に実施する。 (Ⅱ) 旧国道2号と国道2号の架道橋の耐震補強を実施した。 (Ⅲ) 令和4年度まで実施予定。	9,000

区分	事業名	目的(Ⅰ)／平成30年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	H30年度 決算額 (千円)
	安全・安心な施設情報の発信事業	(Ⅰ) ホテル・旅館等及び自衛消防組織設置対象の大規模な施設について、防火基準適合表示制度(適マーク)の表示対象物として適マークの掲示及びインターネットでこれらの施設の安全・安心情報を発信すること、また施設のCSRを促すことを目的に実施した。 (Ⅱ) ホテル3施設に対し、適マークの交付及びインターネットで情報発信。また自衛消防組織設置対象施設を対象とした要綱を策定し、7施設をインターネットで情報発信した。 (Ⅲ) 施設利用者への情報提供及び施設のCSRを促すため、この事業を継続して実施する。	0
重公	耐震性防火水槽整備事業	(Ⅰ) 水島地区: 亀島第7公園に耐震性100t防火水槽を整備した。(令和元年5月23日完成検査) (Ⅱ) 大規模災害への防災体制充実化のため、倉敷地区: 阿知3丁目東地区に耐震性100t防火水槽を設置するため、実施設計を行った。 (Ⅲ) 実施設計は平成30年度で完了し、令和元年度で本体設置工事を行う。	19,694
重	緊急情報提供無線システム管理運営事業	(Ⅰ) 災害時における迅速確実な情報伝達を行うことを目的として実施した。 (Ⅱ) 拡声塔の保守点検を行った。 (Ⅲ) 災害発生時市民に対し緊急情報を迅速に提供できるよう継続して実施する。	35,343
重公創	高梁川流域圏防災力強化事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏域の一体性を醸成し、圏域内の防災力強化を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 防災講演会、避難所運営演習を実施した。 (Ⅲ) 高梁川流域圏域内の防災力強化を図るため、継続して実施する。	873
重公	ため池ハザードマップ作成事業	(Ⅰ) 防災上重点なため池について、ハザードマップを作成・周知することで、防災意識の向上を図る。 (Ⅱ) 中ノ池外3池について作成した。 (Ⅲ) 防災重点ため池の要件見直しに合わせて、対象を追加して継続実施する。	2,393
重公	ため池改修事業	(Ⅰ) 満池の取水施設の改修を行い、防災力強化を図る。 (Ⅱ) 事業遅延により令和元年度に事業繰越をした。 (Ⅲ) 満池の改修は令和元年度完了予定。	146
都	海岸堤防等長寿命化計画策定事業	(Ⅰ) 国の定めた「社会資本整備重点計画」に基づき、平成32年度までに長寿命化計画を策定する。 (Ⅱ) 平成30年度に3漁港の長寿命化計画を策定完了した。 (Ⅲ) 策定した長寿命化計画に従って点検や修繕等を実施し、適切な維持管理を行う。	31,514

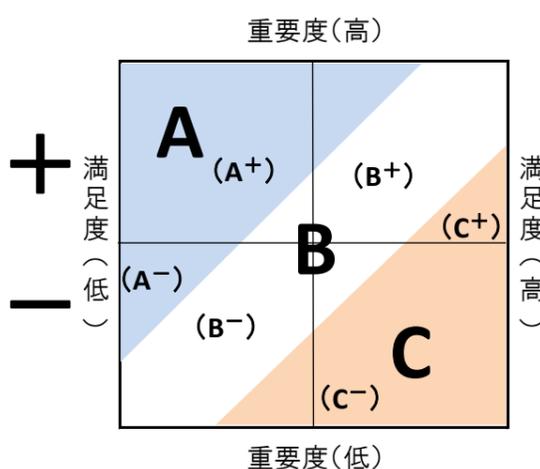
市民の重要度・満足度(R1.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
A ⁺	69.51	40.64

●重要度に見合った満足度が得られていない(A)
●重要度が平均値より高い(+)

【グラフの見方】



A: 重要度に見合った満足度が得られていない領域
 B: 重要度に見合った満足度が得られている領域
 C: 重要度に見合う以上の満足度が得られている領域

※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割(3×2領域)
 +: 重要度が平均値より高い部分
 -: 重要度が平均値より低い部分

A⁺, A⁻, B⁺, B⁻, C⁺, C⁻

A⁺: 重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

課題

- 南海トラフ巨大地震や近年の風水害の実情等を踏まえ、地域防災計画の見直しを実施し、排水機場などの整備、市民への情報伝達手段の整備、自主防災組織の結成促進、地区防災計画作成の支援などハード・ソフト両面において一層の防災対策を図る必要がある。
- 消防団員の安全確保のため、装備の充実を図っているが、十分な装備の導入には至っていない。
- 住宅火災による死者の多くは、就寝時の逃げ遅れが原因となっているため、住宅用火災警報器の重要性を理解してもらい、設置及び維持管理の徹底を促進していく必要がある。
- コンビナートで発生した事故は、同種の原因によるものが繰り返されているため、再発防止対策が有効に実施されているか確認する必要がある。
- 浮き蓋付き特定屋外タンク貯蔵所の基準の適合期限が令和5年度末までとなっているため、改修を促進していく必要がある。

今後の取組み方針

- 届出避難所の認定を継続し、避難場所の充実を図る。
- 防災士育成講座を継続開催し、地域の防災リーダーを育てる。
- 地区防災計画の作成を支援し地域防災力を上げる。
- 消防団員の安全確保のため、装備及び資機材の拡充を図る。
- 住宅用火災警報器の未設置世帯への設置促進及び維持管理の徹底を図る。
- 事故の再発防止対策が有効に実施されているかを確認するため、現地調査を行い事故防止活動を行う。
- 浮き蓋付き特定屋外タンク貯蔵所の基準を期限内に適合させるため、保有事業所に対し、早期改修を指導する。